

10月の産地情報

輪菊	白菊	愛知・静岡などが中心。作柄については7月・8月の高温の影響による圃場での立ち枯れなど、品質不良のものが多く昨年と同様に出荷量に影響が出る見込み。品種は精の一世がメインとなる。
	黄・赤菊	静岡・愛知などが中心。白菊と同様、高温障害も多く見込まれる。高冷地産の作付けも年々減少しており、全般的に少な目の出荷が見込まれる。
小菊		福島産中心。出荷量は昨年並みからやや減少している。また、色バランスの崩れもあり、不安定な出荷が予想される。
SP・ディスプレイバッド		・愛知・静岡・栃木中心。品種の切り替え時期に入る為、中旬は若干少ない見込み。下旬にはほぼ秋品種に切り替わってくる。 ・ディスプレイバッドは青森・愛知・静岡中心。出荷量は下旬から増加してくる見込み。
バラ		各産地、出荷量は例年並みの見込みだが、品種によっては残暑の影響により中位等級が多め。
カーネーション		高冷地から暖地へと産地切り替え時期になる為、上旬は出荷が少ない。中旬～下旬より産地が出揃い始め、安定した数量となる見込み。
ガーベラ		静岡中心。各産地夏場の高温による株の痛みなどの影響で、大幅には増えてこない見込み。
かすみ草		福島会津中心。曇天の影響で丈のあるものが採りにくい状況の為、出荷量は減少へ向かう。徐々に暖地もスタート。
リシアンサス		関東・長野中心。昨年よりは高冷地ものが残る見込みなので、品種も多品種となり潤沢な予想。
ユリ	オリエンタル	埼玉、新潟中心。北海道は終盤で、新潟の平場と高知・千葉が始まり産地の切り替え時期となってくる。 白：色は6:4でカサブランカが少な目、八重咲きがやや多めの出荷となる。
	スカシ・鉄砲	・スカシLAは埼玉、新潟中心。数量は例年並みで多く無い。 ・鉄砲ユリは、埼玉、長野、高知中心。こちらも数量は例年並みでやや少な目となる。
洋ラン類		・オンシジューム：国産、輸入共に季咲きが出てくる為出荷量は多め。 ・カトレア：季咲き含めて潤沢な出荷の見込み。 ・シンビジューム：輸入が出荷終了し、下旬頃から国産の出荷が始まる見込み。 ・デンファレ：国産、輸入含めて出荷は横ばい。 ・ファレノ：ミディは少ないが、V3系は潤沢な出荷の見込み。
季節もの		・グラジオラス：長野・茨城中心。9月下旬から10月上旬が順調な出荷量となる見込み。 ・紅葉物：猛暑の影響で黒焼けした為、出荷に至らず量が少ない。紅葉ヒペリカムは出荷はありそう。 ・(9月下旬より)：北海道産 おもちゃカボチャは生育不良により全体的に出荷が少ない。 ・10月7日かぼちゃ大市には出荷が一時的に増。